

日本語学習者訪日研修2018 帰国後レポート

スニガ・アドリアン (Adrian Zuniga)

2018年参加



今年の九月私は国際交流基金の日本語学習者訪日研修のプログラムに参加しました。

このプログラムで世界中の40カ国以上の日本語学習者は日本へ行って、観光したり、日本語で話したり、いろいろな日本の文化や生活を体験することができます。この機会はまるで夢の様でした。お世話になった先生や大使館の皆様に感謝しています。

日本についた日はちょうど台風の影響で関西空港は閉鎖されましたので、どうやってセンターへ行ったらいかがが分かりませんでした。その時に空港職員がセンターの近くまでのルートを教えてくれました。だから別の飛行機に乗って、そして新幹線に乗りました。その後電車に何回も乗り換えて、ようやくセンター近くまで着きました。

25年間で最も強い台風でしたが、その一日中困っていた時にその職員だけではなく、普通の人にも手伝ってもらいました。こんな悪い状況でも、日本人は予想以上に優しくかったです。その時にやっぱり日本に着いたなあと感じました。



その夜ついにセンターに着くことができました。つぎの日の朝センターの建物の大きいのに気付きました。参加者はそれぞれ自分の部屋あります。大きくてすごくきれいでした。センターは教室、食堂、カラオケルーム、色々な活動できる部屋もあります。外に出たら、建物の周りは木やひょうしきなどが倒れていたけれど、天気良かったので自転車でコンビニや近くのショッピングモールへ行きました。

プログラムの学習者は色々な国から来てほとんど違う言語、文化、年齢、教育なのに、みんなは日本や日本語に興味がありました。

私はほかの人という時に自分の日本語が間違っているのではないかと恐れたり恥ずかしかったのですが、その二週間で自分と同じような参加者と話したり、出かけたりして、気づかないうちにそれを忘れて友達になりました。





このプログラムのスケジュールは面白くて楽しかったです。国際交流基金のちゃんとした計画で、旅行や授業などの活動もありました。けっこう忙しかったのですが、その二週間でたくさんのいい思い出ができました。



最初の旅行で大阪城見に行きました。大切な歴史的建物で今は博物館のように使われています。そこでその時代について書かれたのを読んでとても面白かったです。その後で心齋橋にも行きました。すごくセンターに近いのですがまったく違う感じでした。夜になるとネオン・サインが光って、人が多くてすごくにぎやかでした。





次の旅行は新幹線で宮島へ行きました。厳島神社の周りはずごく静かな景色でした。ゆっくり散歩をしてから、フェリーが来るまで「もみじまんじゅう」を食べながら待ちました。その夜旅館に泊まりました。食べ物も和食でした。とても美味しかったです。





次の日、広島平和記念公園へ行きました。原爆のえいきょうで苦しんだ人々の話を聞いて、どのくらい恐ろしい事件だったとわかるようになりました。これからそんなひどい事件のないことを願っています。

週末は自分で自由に過ごせましたから、高校のころに日本で留学生だったときのホストファミリーに会うことができました。この10年間たまに電話をかけたり、メッセージ送ったりしましたが、また会えてすごく嬉しかったです。色々な話をしました。今度私はたくさん日本語で話せましたので、まるで自分の国へ帰ったようでした。前と同じように家族の一員になった感じがしました。

このプログラムで日本の素晴らしい文化や生活を体験することができて、もっと好きになりました。その二週間いつも日本語で話したり、たくさんのいい人にあったりしましたから、これからもっと勉強してまた会える日まで頑張ろうと思います。

このレポートは私が印象を受けたものだけを書きました。ですから、他のコスタリカの日本語学習者のみなさんに伝えたいのは、頑張って、このようなプログラムに参加して、日本で見たいところへ行ったり、やりたいことができるように一生懸命勉強してください。

そうすればますますお互いが理解できるようになるでしょう。

